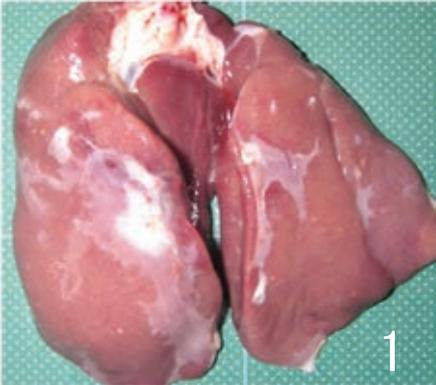


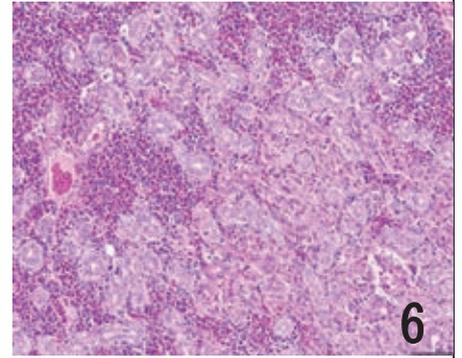
疾病 (異常)	26 炎症 (肝臓、心臓の単発病変)		
肉 眼 所 見	<p>1 肝被膜炎 ・肝被膜の一部あるいは広範囲の領域が白濁及び肥厚している。</p> <p>2 細菌性肝炎 (肝臓の多発性肉芽腫) ・肝臓は軽度ないし著しく腫大している。 ・粟粒大から米粒大の境界明瞭な灰白色ないし黄色の病巣が散発あるいは密発している。 参考文献 1 小笠原房江, 他: ブロイラーにおける肝臓の多発性肉芽腫, 鶏病研報, 49, 215 (2013)</p> <p>3 胆管肝炎 ・肝臓は著しく腫大 (ときに重量が 200g 以上)、退色、硬化し、小葉構造が明瞭化する。 ・重篤例では、とたいの発育不良を伴う。 ・ときに腹水症を併発する。 ・病因として軽度の <i>Clostridium perfringens</i> 感染、あるいは胆汁のうっ滞が指摘されている。 参考文献 1 Barnes HJ: Clostridial diseases, Diseases of poultry, 12th ed, Saif YM, et al eds, 865-866, Blackwell Publishing, Ames (2008) 2 佐々木 淳, 他: ブロイラー鶏における <i>Clostridium perfringens</i> による胆管肝炎の集団発生, 日獣会誌, 51, 528-532 (1998)</p> <p>4 心膜炎及び心外膜炎 ・心膜及び心外膜が白濁、肥厚し、心膜水が増量する。</p>		
廃棄等の 措置の根拠	別表第 11 (部分廃棄)		
			
肝被膜炎: 肝被膜は広範に白濁及び肥厚している。	細菌性肝炎: 肝臓は腫大し、境界明瞭な小病巣が密発している。	胆管肝炎: 肝臓は著しく腫大、硬化し、黄褐色 (退色) を呈している。	



胆管肝炎：細胆管の増生により、小葉構造が明瞭化している。



心膜炎：左は正常な心臓の心膜で、右側の4例では心膜が白濁、肥厚し、内部の心膜が見えない。



胆管肝炎：細胆管の増生により肝小葉の固有構造が崩壊している。偽好酸球形髄外造血もみられる。